



「慰安婦」国際中傷を跳ね返せ

「日本軍が朝鮮人女性二十万人を強制連行し性奴隷とした」――。

国際社会ではこのような作り話が信じられています。根拠は、吉田清治氏の虚偽証言でした。吉田氏を「良心的日本人」としてもてはやした朝日新聞は、三十二年後に虚報と認めて記事を取り消しました。この間、日本はどれだけ辱めを受けてきたでしょうか。

外務省にはより重い責任があります。日本政府は平成五年（一九九三年）八月に河野談話を発表し、国際社会に慰安婦は強制連行されたという誤解を広げてしまいました。にもかかわらず、外務省は今日まで明確な反論を一切していません。平成八年（一九九六年）、国連人権委員会特別報告者のクマラスワミ氏は、吉田証言を事実と認め慰安婦を性奴隷と決めつける報告書[※]を出しました。それが米下院決議や各地での慰安婦像設置の根拠となっています。

徹底した反論が必要な今、外務省は世界各地にジャパンハウスを建てて、戦略的対外発信の柱としてアニメや料理を宣伝するという。優先順位はこれではないのでしょうか。

日本の名誉を守る首相直轄の対策本部を置き、担当大臣と専属事務局を設け、政府を挙げて取り組むことが急務です。

※「女性に対する暴力（いわゆるクマラスワミ報告）」は「女性のためのアジア平和国民基金サイト」の以下のページ <http://www.awf.or.jp/pdf/0031.pdf> で見る事ができます。

公益財団法人 国家基本問題研究所

理事長 櫻井よしこ
副理事長 田久保忠衛

【役員】

- | | | |
|-------|----------|------|
| 荒木和博 | 北村稔 | 奈良林直 |
| 石川弘修 | 五島幸雄 | 西修 |
| 石原慎太郎 | 齋藤慎 | 西岡力 |
| 井尻千男 | 佐藤守 | 浜谷英博 |
| 伊藤隆 | 島田洋一 | 平川祐弘 |
| 上田愛彦 | すぎやまこういち | 福田逸 |
| 梅澤昇平 | 高池勝彦 | 淵辺美紀 |
| 大岩雄次郎 | 立林昭彦 | 古庄幸一 |
| 太田文雄 | 塚本三郎 | 堀義人 |
| 大原康男 | 鄭大均 | 百地章 |
| 小倉義人 | 富山泰 | 山田吉彦 |
| 金田秀昭 | 中條高德 | 屋山太郎 |
| 川村純彦 | | 渡辺利夫 |

意見広告

入会案内

志を共有し、日本を変えていくために、広く会員を募集しております。入会御希望の方は郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記して、葉書もしくはFAXにてご連絡ください。折り返し入会申込書をお送ります。ホームページからも入会できます。

葉書 〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目8番10号 平河町宮川ビル3階「国家基本問題研究所事務局」○係

FAX 03-3222-7821

URL <http://jinf.jp/>

国基研

検索

シンポジウム「会員の集い『国際情報戦をどう戦うか』」開催（10月19日（日）都内）参加希望の方は、その旨明記の上、左記事務局宛にご連絡ください。